

がくしゅう ふ か え 結ぬ海科の学習振り返りアンケートまとめ（児童用）

1 あなたは結ぬ海科が好きですか？

	とても好き	好き	好きではない
1年生	89% (8/9人)	11% (1/9人)	0% (0/11人)
2年生	50% (5/10人)	50% (5/10人)	0% (0/10人)
3年生	82% (9/11人)	18% (2/11人)	0% (0/11人)
4年生	50% (5/10人)	30% (3/10人)	20% (2/10人)
5年生	64% (9/14人)	36% (5/14人)	0% (0/14人)
6年生	50% (6/12人)	42% (5/12人)	8% (1/12人)
全 体	61% (41/66人)	34% (23/66人)	5% (3/66人)

どうしてそう思うのか、わけも書いてみましょう。

《1年生》

- ・きれいな貝がらを拾えて楽しかったから。
- ・魚まきで見て絵をかけたから。
- ・海で貝を拾ってペン立てを作ったから。
- ・魚まきで1匹魚をつれたから。
- ・きれいにうろこを取れたから。
- ・海の授業で、知らないことが分かるからです。
- ・海がきれいになるからです。
- ・魚まきでサメを捕れてうれしかったです。
- ・海の生物とかを知れるからです。
- ・ビーチクリーンでゴミをたくさん拾えたから。
- ・魚まきで魚をいっぱい捕れたから。

《2年生》

- ・海をきれいにするのが好きだから。
- ・鉛筆立てを作るのが楽しかったから。
- ・ゴミを拾って海がきれいになるから。
- ・海が好きだから。
- ・魚まき集会があるから。
- ・暑いからちょっといやだ。
- ・水筒に砂が入るから少しいやだ。
- ・ビーチクリーンで海をきれいにできるから。
- ・魚まき集会でうろこかきをいっぱいできて楽しかったから。
- ・ビーチクリーンで海をきれいにできるし、魚などを見れるから。
- ・魚まき集会と星砂海岸でお魚を知れたから。

《3年生》

- ・とても楽しいしビーチクリーンや魚まきができるから。
- ・魚まき集会で魚を見つけたり捕ることができるからです。
- ・いろいろなことが分かるから。
- ・魚まき集会で魚を食べれるから。
- ・ビーチクリーンでゴミを集めるのが楽しいから。

《4年生》

- ・興味はあるけどそんなに好きではない
- ・動くのが苦手だから普通。
- ・危険な海の生物がいるかもしれないから（魚まき集会）
- ・魚巻き集会で、みんなでご飯を食べたから
- ・ビーチクリーンの分別が苦手だから
- ・魚まき集会があるから
- ・ビーチクリーンも魚まきもあまり好きじゃないから。
- ・苦手なこともあるから。

《5年生》

- ・自分が森を守っていると思うと嬉しいから
- ・工作などは好きだけど、ビーチクリーンは苦手。
- ・将来役に立つと思うから
- ・海のこととか知れるから
- ・ペットボトルのキャップでのアップサイクルが楽しかった。
- ・楽しいときもあるし、楽しくないときもあるから
- ・自分が好きなことが多いから

《6年生》

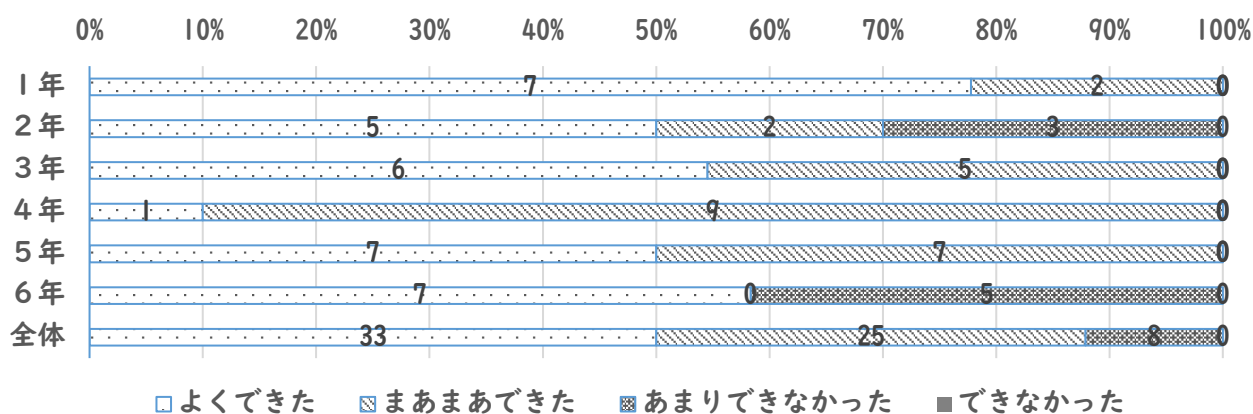
- ・今の西表の現状や海洋問題を知れるから。
- ・他の学校と違って、多くの自然に関われるから。
- ・海のことについてより学べるから。
- ・SDGsについてまなべるから。
- ・好きではないけどできる。
- ・アップサイクルプロジェクトが楽しいから。
- ・海で遊ぶのは好きなので海のことを勉強したいからです。
- ・海が好きで大好きな海を守りたいから。

【考察1】

昨年度と比較すると、とても好きと答えた児童が64%、好きと答えた児童が36%と同率であり、結め海科への意欲関心の高さが感じられる。また、自由記述欄から「海が好き」と答える児童が多いため、今後も3大教育を持続するとともに、各教科と関連付けて授業を組み立てるとより、効果的と考えられる。

2 あなたは問い（ふしぎだな？どうしてかな？）を見つけることができましたか。

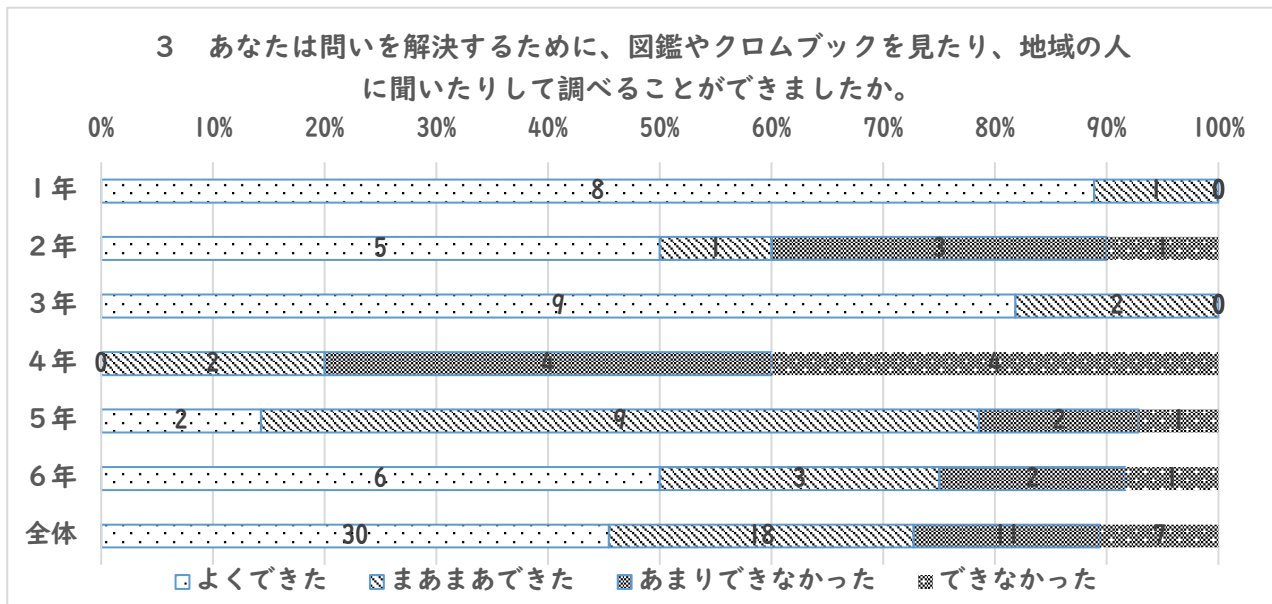
2 あなたは問いを見つけることができましたか。



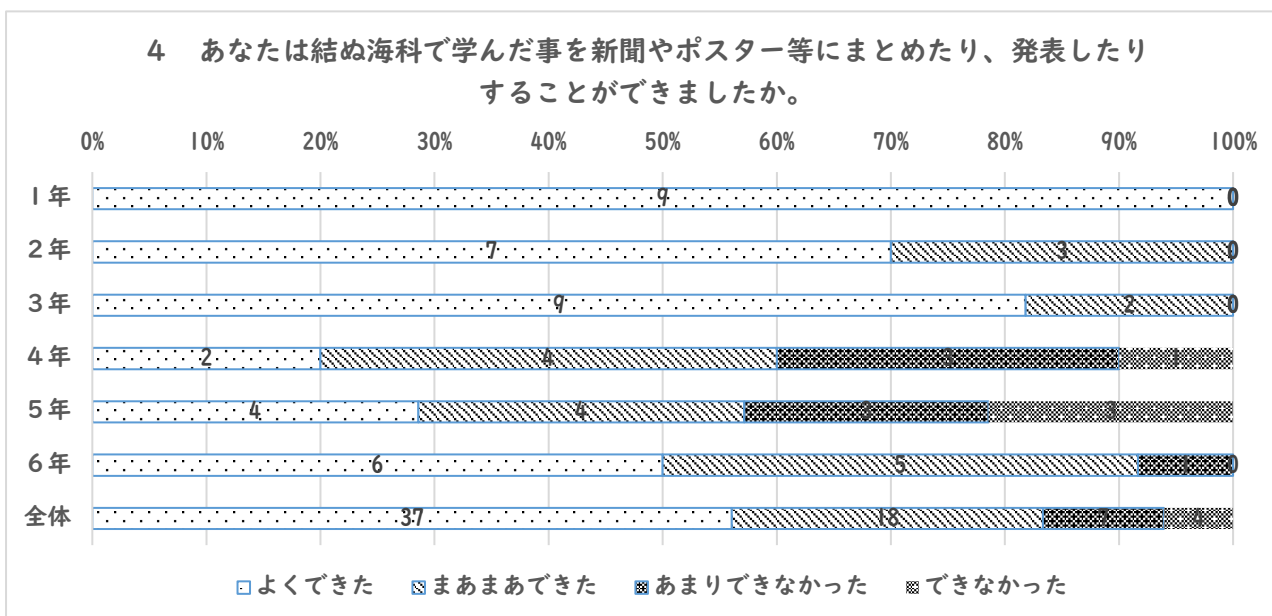
【考察2】

昨年度と比較すると、9割の児童が「できた」「まあまあできた」に回答しており、問いを見つけることができた児童が1割程度増えている。また、「問いを見つけることができなかった」と答える児童が一人もいないことから、全児童が活動の際から「問い」に気を付けながら活動していることがわかる。2年間の「問い」の研究から、先生方の活動前・活動後の声掛けの質が向上していると考えられる。今後も、校内研修等を使って「何のために活動をするのか」教員同士で確認を行っていききたい。

- 3 あなたは問いを解決するために、図鑑やクロムブックを見たり、地域の人に聞いたりして調べることができましたか。



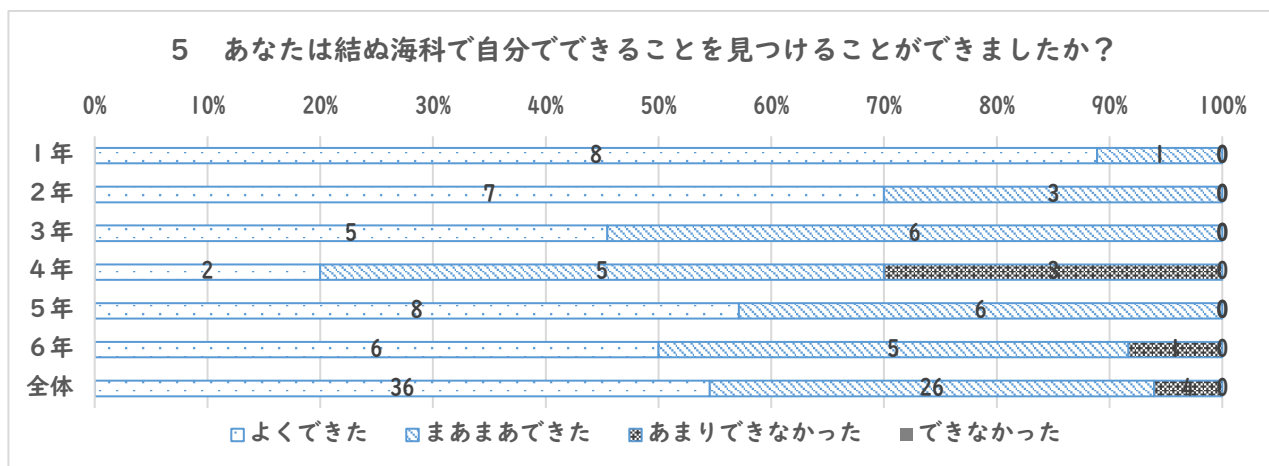
- 4 あなたは結め海科で学んだ事を新聞やポスター等にまとめたり、発表したりすることができましたか。



【考察3・考察4】

昨年度の課題を受けて、第3学年では地域の方々へ直接インタビューを実施、低学年でクロムブックの活用した授業実践を行うことで、問いを解決する方法を広げることができた。また、新聞やポスター等にはまとめていないが、低学年に学習内容をスライドにまとめたり、カルタにしたりして紹介することができた。また、高学年では、春松小学校との交流などで学習内容をまとめる機会があるので継続していきたいと考える。

5 あなたは結ぬ海科の学習から自分でできることを見つけることができましたか。



自分でできることを教えてください。

《1年生》

- ・魚を捕まえる。
- ・ゴミをたくさん拾う。
- ・うろこを上手に取る。
- ・魚さばき。
- ・つり
- ・きれいな貝を拾った。

《2年生》

- ・ゴミやペットボトルをたくさん集める。
- ・ゴミを分別できる。
- ・ゴミを海に捨てるのではなく、ゴミ箱に入れる。
- ・ゴミを集めてきれいな海にしたい。
- ・魚の名前や特徴を教えられる。
- ・魚のうろこを取る。
- ・3ヒントクイズ

《3年生》

- ・内臓取り、うろこ取り。
- ・ポイ捨てをできるだけなくす。
- ・ビーチクリーン
- ・休みの日にビーチクリーンをする。
- ・ゴミを見つけたら拾う。

《4年生》

- ・きれいにゴミとかを集めること。
- ・魚まき集会で魚をとること。
- ・なにをやったのかわからない。
- ・1年生に教えること 分別をすること。
- ・魚を減らさないように、ポイ捨てをしないこと。
- ・海にゴミを捨てないようにする。
- ・5,6年生がヤブから出したゴミを集める。
- ・ビーチクリーンでゴミをいっぱいひろえる。
- ・ビーチクリーンの分析。

《5年生》

- ・アップサイクル
- ・海を守るためにプラスチックをできるだけ使わないこと。
- ・アップサイクルでゴミをいい作品にできた。
- ・ビーチクリーン
- ・できるだけエコバックを持って行く。
- ・海にゴミを捨てないようにみんなに呼びかける。
- ・ゴミを見つける。
- ・ポイ捨てをしない。
- ・ビーチクリーンなどで自分からゴミを取りにいった。

《6年生》

- ・エコバックをできるだけ使ったり、プラスチック製品のものをできるだけ使ったりする。
- ・ゴミを捨てない。
- ・新聞を書く。
- ・アップサイクルプロジェクト(リサイクル)
- ・なるべく大きなゴミを出さない、ペットボトルなどを使いすぎないこと。
- ・ポイ捨てをしない、マイボトルを使う、エコバッグを使う。
- ・答えを見つける。
- ・ペットボトルをなるべく買わないようにする。

【考察5】

9割の児童が自分でできることをみつけることができた。体験活動はもちろん、その後の学習にどうつなげて授業展開していくかで、子どもたちの「できる」自身がついたのではないかと考える。

2 あなたは、自分の地いきや西表島のどんなところを誇り（すごい！いいなあ！じゃん！）に思いますか？（いくつでもOK）

西表島の誇りに思うこと\学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体
自然がいっぱい・豊か・きれい		6	6	10	13	12	47
海がきれい・海に魚がいっぱいいる	3	4	5	10	12	12	46
ヤマネコ等、西表にしかない動植物	2	4	2	6	12	11	37
世界自然遺産に登録された				7	11	9	27
人がやさしい・地域の人と仲良し				8	8	12	28
生きもの・虫がたくさんいる	3	1	4	3	10	7	28
滝や川で遊べる・滝や川がきれい			2	7	10	11	30
食べ物がおいしい			2	4	11	11	28
協力する				3	5	7	15
とっても安全で平和				7	9	12	28
人が少なく・穏やか				5	5	8	18
地域行事が多い				2	12	9	23
ビーチクリーンをしているところ			1	3	9	9	22
気候が暖かい				3	9	7	19
西表島を大切にしている				7	11	11	29
星砂がある				5	8	11	24
伝統文化・芸能				6	11	10	27
釣りができる			1	5	7	7	20
観光業が盛んな所					1		1

学校に遊具が多い	2						2
海で遊べる	1		1				2
色々な公園がある	4						4
山登りができる	1						1
スーパーがたくさんある	1						1
水牛に乗れる	1						1
船がたくさんある	1						1
結ぬ海科がある			2				2
カヌーで遊べる	1		1				2
全部			1				1

【考察】

前年度同様、その学年も、自分たちが住む西表島を誇りとしていて、豊かな自然・海・生き物たちを未来に残していくことが必要だと感じていることがわかる。魚まき集会等で、海に親しむことで興味関心を持続していくことを大切にしながら、〈海を守る〉活動も意欲的に行えるようにしたい。

3 西表島の海でやってみたいことが（遊びや調べ学習）ありますか？（いくつでも）

西表の海でやってみたいこと\学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体
釣り			5	6	8	6	25
ダイビング				6	9	12	27
海で泳ぐ・遊びたい	6	4	5	7	11	10	43
海の生き物観察・調査（魚・海藻など）	1	1		2	7	7	18
シュノーケル	2			7	11	10	30
海藻取り				3	8	4	15
ビーチバレー				5	10	6	21
ゴミ拾い				2	4	4	10
貝殻・シーグラスアート		1		5	6	8	20
船遊び				4	7	10	21
砂浜遊び（やどかり遊び・宝さがし）		1		4	5	9	19
SUP				2	9	10	21
キャンプ				5	10	7	22
バナナボート				2	7	7	16
海の絵を描く				3	7	5	15
星砂取り				3	3	7	13
魚を育てる				5	8	6	19
ハーリー				1	6	7	14
水上バイク				3	7	7	17
ビーチフラッグ				3	9	5	17
海で働く人のインタビュー				1	3	6	10
滝遊び					1		1
3ヒントクイズ作り		1					1
魚の新聞作り		1					1

ゴミアート		1					1
もり			1				1
川で泳ぐ			1				1
船を作る		1	1				2

【考察】

昨年度に引き続き、釣り、ダイビング、海で遊びたい、生き物調査等の回答が多かった。また、昨年度と比較すると、海の生き物調査をしたいと思う児童が増えている。これは、結ぬ海科を通して学習した内容から関心が高まったと考えられる。また、ダイビングや釣りの人気の背景には、海の生き物への関心が高いことが考えられる。海の生き物と触れ合いながら、遊びを通して学習を進めていく手立てが必要だと考える。海中学習は、安全面で難しいため、浅瀬の海岸や釣りを実施して研究を深め、探究的に学習が継続できるような手立てが必要ではないかと考える。

4 結ぬ海科の学習で、とくによく学べた、よく考えたと思うのは、どの学習ですか？

	① 魚まき集会	② ビーチクリーン	③ 防災学習
1年生	2人	3人	5人
2年生	3人	3人	6人
3年生	3人	2人	6人
4年生	5人	7人	3人
5年生	5人	5人	8人
6年生	6人	6人	5人
全 体	24人	26人	33人

どうしてそう思うのか、わけも書いてみましょう。

《1年生》

- ①魚まきについて考えることができた。
うろこの取り方が分かった。
- ②ゴミをたくさん拾えた。
ゴミについて考えた。
- ③いろんな訓練が楽しかった。
一輪車で荷物を落とさないように運べた。
津波について考えた。

《2年生》

- ①海に行って魚を食べられるから。
手を離したら魚が逃げることが分かったから。
- ②ゴミを海からなくしたいから。
海が大切でいつもビーチクリーンをしたくなってきたから。
- ③本当に災害が起きた時にどうすればいいかわからなければ逃げれないと思ったから。
命に関わることだから。
ボードゲームで真剣に逃げる場所を考えられたから。
人が死んでしまうと考えるとこわいと思ったから。
全部：振り返りをしっかりできたから。

《3年生》

- ①内臓やうろこの取り方が分かった。
魚を自分でさばけるようになった。
魚をたくさん捕れたから。
- ②きけんなものや汚いゴミを取れた。
危ないゴミについて知れた。
- ③避難訓練で考えることができた。
津波が来た時にどこに逃げるか考えた。
キャタピラや一輪車で体験できたから。
防災学習をしないと命がなくなってしまうかもしれないという思いでやったから。

《4年生》

- ① 魚を見ることができたり取ることができたりから。
魚が好き、魚を持てる。
魚まき集会で危険生物の事をたくさん知れたから。
魚の種類などのことが学べた。
どうしたらきれいに内蔵が取れるかを考えた。
みんなでできるから。
- ② ごみを捨てないようにしたいと思ったから。
ゴミを拾わないと魚が食べて死んでしまうから。
- ③ 命に関わることだし真剣にやらないといけないことだからです。
本当に起こったときの気持ちになって取り組めたから。

《5年生》

- ① 自分で色々なことを体験できたから。
どんな魚が危ないか学んだから。
魚に感謝できた。
魚のことを知れた。
魚まき集会ではたくさん魚を捕る方法を考えた。
- ② ビーチクリーンはゴミのことを理解した。
マイクロプラスチックのなどを教えてもらっているから。
環境にいいことができる。
疑問を考えたりすることが去年より多くできた。
- ③ 防災学習は運動したので良かった。
津波が来たときどうすればいいかわかった。
真剣な気持ちで取り組めたから。
災害が起きたときに自分がどう動くのかを知れたから。
ボードゲームをして、初めて実際に起きたときのことも考えてみたからです。
ダイレクトロードで災害時に自分はどうすればいいかを学ぶことができたから。
自分の命が守れる。

《6年生》

- ① 命の大切さや、魚を食べるまでの大変さを学んだ。
海を大切に意味を学んだ。
魚の特徴を学んだ。
魚を当たり前のように食べてるけど海の恵みに感謝することが大切だから。
- ② ビーチクリーンで集めたペットボトルキャップでアップサイクル活動が観光にきた人に伝えられたから。
ゴミがどこから来たのかを学んだ。
海のゴミを拾わないと海に流れて汚くなるから。
アップサイクルプロジェクトでたくさんの思い出を作ったから。
- ③ 自分の命や家族の命を守るため。
これからの地球、災害の対策などを自分なりに学習できた。
命の大切さがわかるから。
本番を想定してできたから
今回は、防災スポーツやダイレクトロードで楽しく学べたと思ったから。
どう避難するか学んだ。

【考察】

今年度は「防災学習」に、肯定的な意見が多く集まった。初めての「ダイレクトロード」と「防災スポーツ」の取組が良かったと考えられる。様々な体験活動も、昨年同様実施するのではなく、時代に合わせて変化させつつ活動を行っていくといいと考えられる。